

北見地産地消通信

北見市地産地消推進委員会 第6号 平成29年2月発行

株式会社イトーヨーカ堂との地場産品販路 拡大・地産地消に係る連携協定を締結しました



10月21日、北見市役所北2条仮庁舎において、「北見市と株式会社イトーヨーカ堂との地場産品販路拡大・地産地消に係る連携協定締結式」を行いました。

当日は株式会社イトーヨーカ堂及び本市関係者が見守る中、株式会社イトーヨーカ堂販売事業部北海道ゾーン 長田哲ゾーンマネジャーと辻直孝市長が協定書をそれぞれ取り交わしました。

この協定は、北見市産品の農林水産物・加工物等のPRや販路拡大及び地産地消の活性化を図ることを目的としています。

今後も本市の有する豊かな農林水産資源と、株式会社イトーヨーカ堂の有する販売網を活かし、地場産品のPRや販路拡大、地産地消を進めることで地域産業の活性化を目指します。

農業体験学習

食育活動や食農教育、農業体験を通じて、農業への理解の向上を図るとともに、身近な地域にある豊富な食材への関心を高めるため、食育・地産地消の啓発に努めています。

本年も網走改良普及センター、きたみらい農業協同組合、常呂町農業協同組合等の協力のもと、市内小中学校で実施した農業体験学習の取り組みを支援しました。

東相内小学校では5年生が主体となり、地域の農家の圃場を借りて5月に田植え、10月に稲刈り、11月の脱穀・精米体験を通じて、お米の大切さを肌で感じました。

12月の収穫祭ではお世話になった農家と普及センター・農協等の各関係機関、保護者を招待し、つきたての餅の食事会を開催。昼食後はお米や野菜の作付けから収穫までの一連の農作業や半年間の観察についての発表会も行われ、貴重な体験となりました。

5月 田植え	10月 稲刈り
	
11月 脱穀・精米	12月 収穫祭
	

東相内小学校での農業体験学習の様子



北海道フェアが実施されました！！

11月7日～25日の北見工業大学生協同組合（以下、工大生協）の食堂で地産地消をコンセプトとした北海道フェアが開催され、オホーツクの海の幸、山の幸をふんだんに使ったメニューが並び、学生たちは地元の食材に舌鼓を打ちました。

工大生協では11月祭として、学生の7割を占める道外出身の学生にも北見市のおいしいものを味わってもらおうと10年前に企画され、石狩汁とエゾシカ焼肉の無料配布が始まりとのことです。



今年からフェアの期間以外にも毎月29日は**ニクの日**と題してエゾシカ丼を提供しています。



北見工業大学生協同組合
専務理事 白岩 研治 さん

近年はホタテの価格が高騰しており、常呂ホタテ丼を学食メニューに取り入れることに苦労しました。

今年からコロッケフェスタで優勝した(株)グリーンズ北見のたまコロをピュッフェ形式で提供しています。フェア期間に限らずレギュラーメニューとして提供できるよう取り組みたいです！！

北見エゾシカフェスタ 2017が開催されました



農林業に大きな被害をもたらしているエゾシカを自然の恵みとして捉え、北見の地場農産物とエゾシカ肉を楽しむ北見エゾシカフェスタ2017が2月10、11日の両日、オホーツクピアファクトリーで開催されました。

今年は新メニューの『エゾシカ肉と白花豆のコンフィ』など、計10品がピュッフェ形式で提供され、約500名が舌鼓を打ちました。

射撃シミュレーターを使った狩猟の疑似体験や女性ハンターの井坂美保子さんのトークセッションも行われました。

【 北見市地産地消推進委員会 事務局 】

〒090-0024 北見市北4条東4丁目6番地 北見市農林水産部 農政課内

TEL 0157-25-1142 FAX 0157-25-1181

E-mail nosei@city.kitami.lg.jp ホームページ <http://www.city.kitami.lg.jp/>

